

令和4年6月

リカレント教育講座「軽水炉安全セミナー（原子炉廃止措置編）」開催案内

福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、軽水炉による原子力発電を継続して利用していくためには、事故炉の廃止措置の確実な実施と、軽水炉の長期的な信頼性、安全性の確保とその絶え間ない向上が不可欠です。このため、東北大学では廃止措置を安全に遂行するための基盤研究を加速するとともに、安全な廃止措置をリードできる中核人材の育成を図ることとしています。

本講義では、原子力発電所のリスク情報活用やそれを踏まえた安全管理、過酷事故対策、経年劣化を考慮した設備管理、福島第一発電所の現状、過去の炉心損傷事故の教訓、廃炉研究の現状と課題、技術開発課題に対する各種の取り組みなどに加え、廃止措置時の鋼構造物健全性確保における腐食劣化評価の考え方や燃料デブリの基礎と処理・処分、リスク・コミュニケーションなどの学術的な基盤の現状など、幅広く講義をします。ご関心ある方はぜひ奮ってご参加下さい。

1 開催日時：令和4年9月28日(水) 8:50 ～ 9月30日(金) 17:00

2 申込期日：令和4年9月22日（木） 17時まで

3 申込方法：リカレント教育講座 申込 Google Form に必要事項を入力  
<https://docs.google.com/forms/d/1JDeuPll07mszUBkGTpur3SKX5u-cxXhnHVrjVagIhhg/edit>

4 講習料：無料

5 募集人数：20人

6 問い合わせ先：

（申し込みに関すること）東北大学工学部・工学研究科 教務課大学院教務係

TEL：022-795-5820 FAX：022-795-5824

E-mail：eng-koukai@grp.tohoku.ac.jp

（講義内容に関すること）東北大学原子炉廃止措置基盤研究センター支援室

TEL：022-795-3185

E-mail：cfrend@grp.tohoku.ac.jp

7 その他：本学が保有する個人情報、**「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」**等の法令を遵守するとともに、**「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」**に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。

## 8 スケジュール

令和4年度  
『軽水炉安全セミナー（原子炉廃止措置編）』スケジュール

	9月28日(水)	9月29日(木)	9月30日(金)
	8:50 - 9:05 開講趣旨説明 (東北大学)		
1限	9:10 - 10:10 リスクの概念とリスク評価・管理の基礎 (東北大学)	8:50 - 9:35 福島第一の廃炉のための 技術戦略プラン (NDF)	8:50 - 9:50 放射線計測技術 (東北大学)
2限	10:20 - 11:20 原子力発電所の概要と 安全管理、設備管理の考え方 (東北大学)	9:45 - 11:15 福島第一の廃炉研究開発の現状と課題 (IRID)	10:00 - 11:00 燃料の固体化学と燃料デブリの基礎 (東北大学)
3限	11:30 - 12:30 電力会社における廃止措置の取り組み状況 (関西電力)	11:25 - 12:25 機器・構造物の機能維持と経年劣化対応の重要性 ～腐食現象と放射線影響～ (東北大学)	11:10 - 12:10 東京電力福島第一原子力発電所 過酷事故の事故シナリオと 炉内状況の推定 (JAEA)
4限	13:30 - 14:30 福島第一原子力発電所の現状と今後の展望 (東京電力)	13:25 - 14:25 損傷したコンクリート構造物の 長期健全性評価の考え方 (東北大学)	13:10 - 14:40 燃料デブリの特性と処置について (JAEA)
5限	14:40 - 15:40 福島第一原子力発電所事故の進展と教訓 (東京電力)	14:35 - 15:35 原子力発電所の廃止措置における 遠隔技術の役割と適用技術 (東北大学)	14:50 - 15:50 燃料デブリの分析について (JAEA)
6限	15:50 - 16:50 TMI及びチェルノブイリの経験から学 ぶもの、福島へ反映できるもの (東北大学)	15:45 - 16:45 廃炉作業に伴うロボット技術の開発 と現場適用の状況 (日立GE)	16:00 - 17:00 放射性廃棄物の管理・処分 (東北大学)

NDF：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 IRID：国際廃炉研究開発機構 JAEA：日本原子力研究開発機構  
講師の都合により題目に変更がある場合があります